



図書管理システム
セットアップマニュアル

目次

動作条件	3
運用形態の確認	4
セットアップの流れ	5
Step1 セットアップ前の準備 (パソコンの選定)	6
Step2 セットアップする (サーバー & クライアント)	7
Step3 セットアップする (クライアント)	10
エラーが表示されたら	14

動作条件

対応OS	Windows 11/10/2022/2019/2016/2012 日本語版 Windows 11/10/は Pro 推奨 64bit 版推奨 サーバーは Linux に対応 (3GHz 以上の CPU 推奨)
ディスプレイ	1366 × 768 以上の解像度必須 256 色以上の表示(小さいフォント)で使用
プリンタ	Windows 対応レーザープリンター、または、インクジェットプリンター ※LibMax からの出力帳票は全て A4 以下 バーコード印刷にはレーザープリンターを推奨
バーコードリーダー	USB インターフェイスで使用可能な機種 CODE39・NW7 の読取対応機種(60mm 幅～)
ネットワーク	クライアントサーバー、TCP/IP プロトコル必須

	サーバー・スタンドアロン	クライアント
CPU	インテル Core i3 以上または同等の性能を持つプロセッサ	
メモリ	使用する OS の動作要件を満たすメモリ ※8GB 以上推奨	
ハードディスク	・ インストール時には 2GB 以上の空き容量が必要 ・ 図書冊数 1 万冊につき約 100MB の容量を使用	・ インストール時には 500MB 以上の空き容量が必要
MicrosoftOffice	「Microsoft Office ストアアプリ版」を使用している場合、Excel 連携機能が使用できません。使用する場合は、デスクトップ版に切り替えてご利用ください。	

※ LibMax をインストールするパソコンに、Windows インストーラ 2.0 以上がインストールされている必要があります。

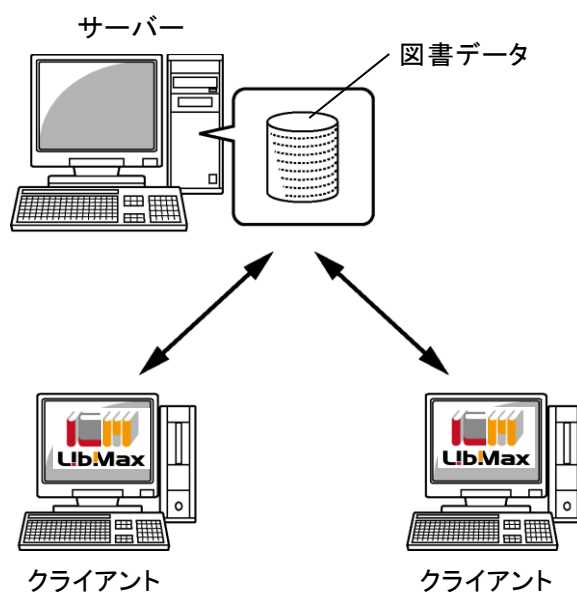
運用形態の確認

LibMax は、複数台のパソコンでネットワークを構築して運用することも、パソコン 1 台のみで運用することも可能です。

■ 複数台のパソコンで運用する場合(1 台のサーバーと、1 台または複数台のクライアント)

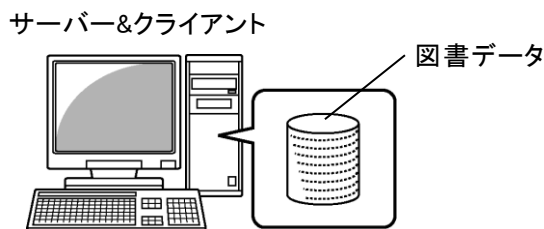
図書データはサーバーのパソコンにのみ登録され、クライアントのパソコンには登録されません。クライアントのパソコンでは、サーバーのパソコンから図書データを読み込んで、各種業務を行ったり、サーバーのパソコンへデータを書き込んだりします。

※ 複数台のパソコンで運用するには、LibMax ネットワークライセンスが必要です。



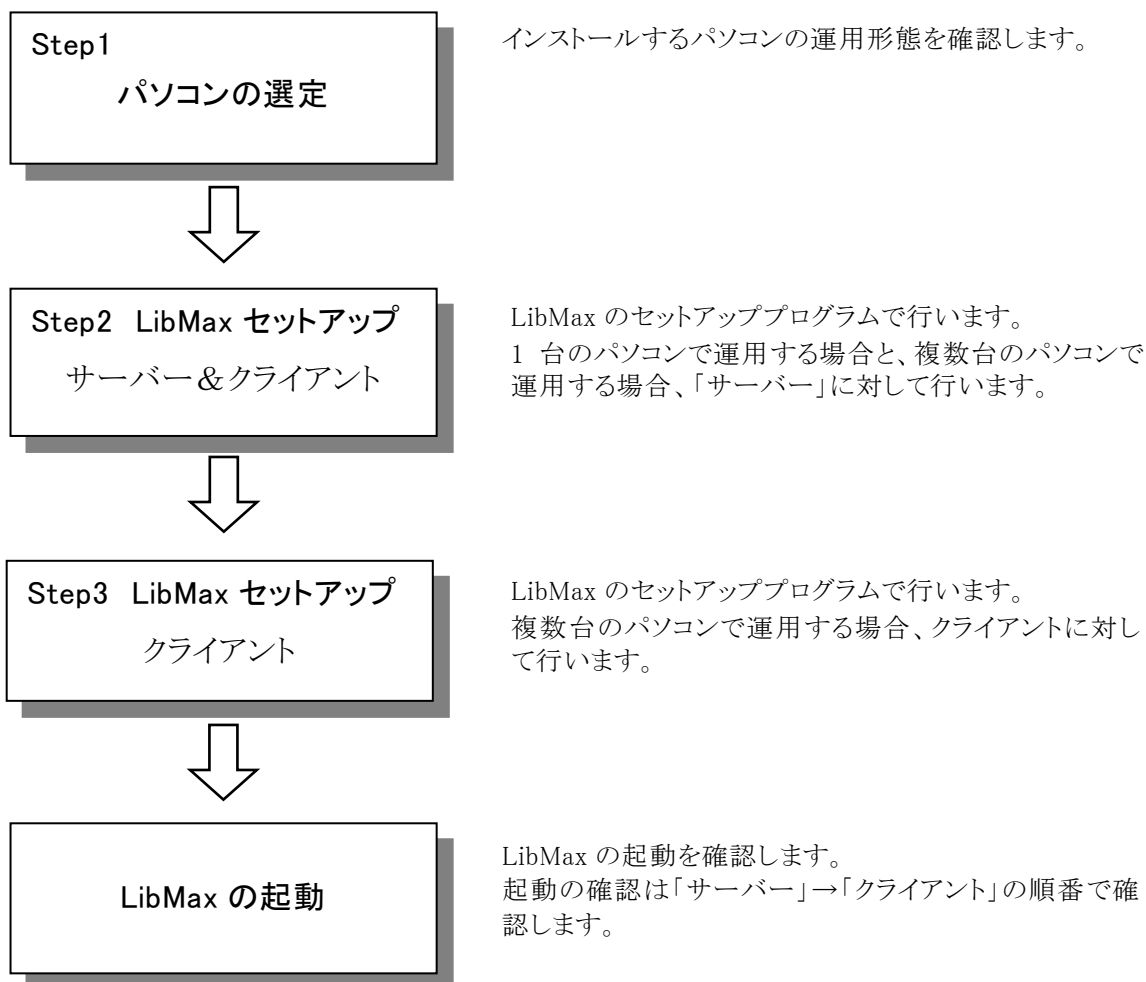
■ 1 台のパソコンで運用する場合(サーバー&クライアント)

1 台のパソコンが、図書データを保有するサーバーの役割と、窓口業務や蔵書検索などを行うクライアントの役割の両方を持ちます。



セットアップの流れ

ここではセットアップ操作を簡単に解説します。



Step1 セットアップ前の準備（パソコンの選定）

LibMax は C/S (クライアント・サーバー) システムです。この場合、サーバーの選定が重要となります。専用のサーバーがなく、通常のパソコンを使用する場合は、最も性能のよいものをサーバーとしてください。

また、LibMax のデータはサーバーに蓄積されます。ハードディスクの空き容量が十分あるか、確認してください。容量の目安は、次のとおりです。

空き容量 図書冊数 1 万冊につき 約 100MB

Step2 セットアップする(サーバー&クライアント)



注意

他のプログラムを起動している場合は、終了してからセットアップを実行してください。

セットアップの前にユーザーアカウント制御(UAC)を無効にする必要があります。次の手順で操作してください。

■ Windows11/10/2022/2019/2016/2012

- ① Administrator 権限で Windows にログオンします。
- ② Windows11/10/2022/2019/2016 の場合は、スタートメニューの右横にある検索欄で「コントロールパネル」と入力すると、検索結果に[コントロールパネル]が表示されるので、クリックします。
Windows2012 の場合は、[Windows]キー+[X]キーを押してメニューを表示させ、[コントロールパネル]を選択します。
 - ・コントロールパネルがカテゴリ表示の場合
[ユーザーアカウント]→[ユーザーアカウント]の順にクリックします。
 - ・コントロールパネルがアイコン表示の場合
[ユーザーアカウント]をクリックします。
- ③ [ユーザーアカウントの変更]ウィンドウで[ユーザーアカウント制御設定の変更]をクリックします。
- ④ コンピューターの変更許可の確認メッセージが表示されたときは、[はい]ボタンをクリックします。
- ⑤ [ユーザーアカウント制御の設定]ウィンドウでスライダーを一番下の[通知しない]まで下げて、[OK]ボタンをクリックします。
- ⑥ コンピューターの変更許可の確認メッセージが表示されたときは、[はい]ボタンをクリックします。
- ⑦ パソコンを再起動します。



注意

旧バージョンからバージョンアップする場合、LibMax データは事前にバックアップしてください。

セットアップは、お使いのすべてのサーバー、およびクライアントで実行してください。

LibMax の環境設定をするためには、Windows のネットワークが正常に動作している必要があります。ネットワークプロトコル TCP/IP は必須です。

LibMax のデータはデータベースのインストール先にセットアップ・蓄積されます。ハードディスクの空き容量を十分に確認の上、インストール先を決定してください。
空き容量は図書冊数1万冊につき、約 100MB が目安です。

1 Administrator 権限で Windows にログインします。ウイルス対策ソフトは、いったん終了してください。

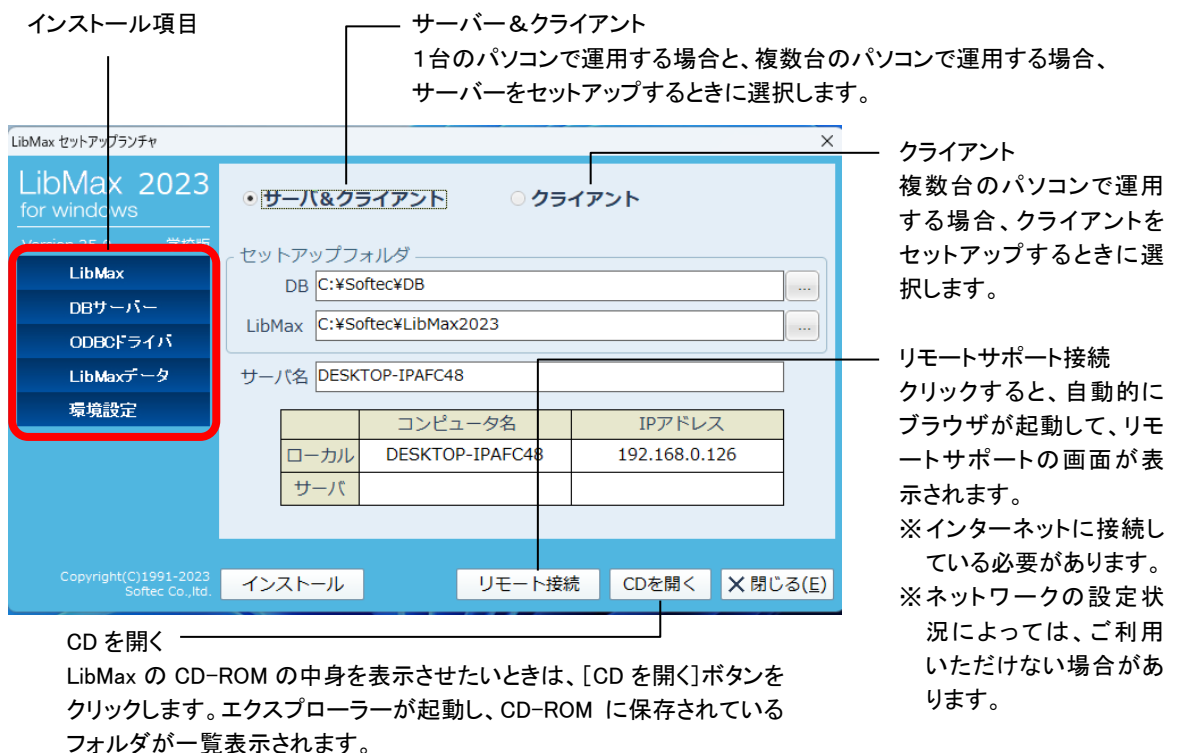
LibMax インストール時に、以下の設定を自動で変更しています。

- ・ファイアウォールの例外設定 (TCP:3306 ポートの例外設定/サーバー & クライアントのみ)
- ・スリープ設定の解除
- ・ファイルとプリンターの共有設定
- ・入力方式の設定 (「アプリウィンドウごとに異なる入力方式を設定する」を有効)

2 パソコンに、LibMax の CD-ROM をセットします。

自動的にインストーラが起動し、[LibMax セットアップランチャ] 画面が表示されます。

※ [LibMax セットアップランチャ] 画面が自動的に表示されない場合は [スタート] を右クリックして [エクスプローラー] を選択します。[PC] から CD ドライブを開き、install(.exe) をダブルクリックします。



3 [サーバー & クライアント]、または[クライアント]のいずれかを選択します。

【サーバー & クライアント】

- ・1 台のパソコンで運用する場合
- ・複数台で運用する場合、サーバー用パソコン (1 台のみ)

【クライアント】

- ・複数台で運用する場合、サーバー用パソコン以外のもの

4 インストール先のフォルダとサーバー名を設定します。

■サーバー&クライアントを選択した場合



① DB・LibMax

DB サーバー・LibMax2023 をインストールするフォルダを設定します。

インストール先の初期値は

- ・DB →「C:\Softec\DB」
- ・LibMax→「C:\Softec\LibMax2023」 です。

指定が無ければ変更する必要はありません。

変更する場合は、 ボタンをクリックして、フォルダを選択してください。

②サーバー名

「localhost」と入力します。

クライアントを設定する(複数台構成)の場合、③のローカルの『コンピュータ名』か『IP アドレス』が必要になります。下記枠に控えてください。

	コンピュータ名	IP アドレス
ローカル		

Step3 セットアップする(クライアント)

■クライアントを選択した場合



① LibMax

LibMax2023 をインストールするフォルダを設定します。

インストール先の初期値は

・LibMax→「C:\¥Softec¥LibMax2023」です。

指定が無ければ変更する必要はありません。

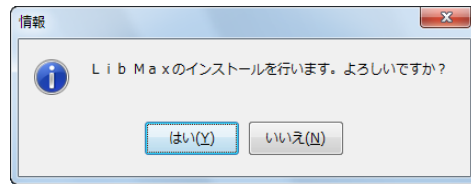
変更する場合は、 ボタンをクリックして、フォルダを選択してください。

②サーバ名

[サーバ&クライアント]を設定した際に、9 ページで控えた『コンピュータ名』か『IP アドレス』を入力してください。

1 [インストール] ボタンをクリックします。

「LibMax のインストールを行います。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

**2** [はい] ボタンをクリックします。

[インストール項目] に表示されている順番に、インストールが実行されます。

インストールされた項目には、[インストール項目] のボタンにチェックマークが付きます。

3 必要な項目がすべてインストールされると、「正常に終了しました。」というメッセージが表示されます。**4** [OK] ボタンをクリックします。

[LibMax セットアップランチャ] 画面に戻ります。

5 [LibMax セットアップランチャ] 画面の[閉じる] ボタンをクリックします。

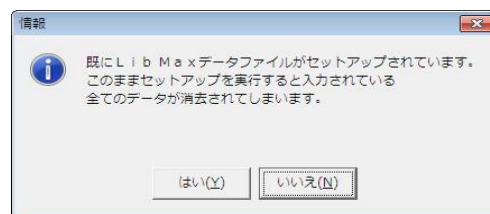
「セットアップを完了させるために、コンピュータを再起動してください。」というメッセージが表示されます。

6 [OK] ボタンをクリックして、コンピュータを再起動してください。

以上で、セットアップは完了です。

注意

既に LibMax データがセットアップされている場合、途中で次のメッセージが表示されます。



この場合、そのまま実行するとすべてのデータが消去されてしまいます。

新規導入時、または LibMax 2010 以前からのバージョンアップ以外は、実行しないよう[いいえ] ボタンをクリックしてください。

補足

インストールの途中でエラーメッセージが表示された場合は、「エラーが表示されたら」<P.14>を参照してください。



●制限ユーザーで LibMax を起動するとき

カウンターでの窓口業務に使用するなど、制限付ユーザーで Windows にログオンしてお使いになる場合、アクセス権限を設定する必要があります。

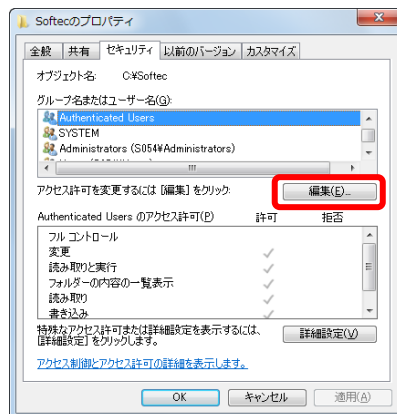
※ Administrator 権限で行ってください。

ここでは、LibMax が C ドライブにインストールされていると仮定して手順を説明しています。

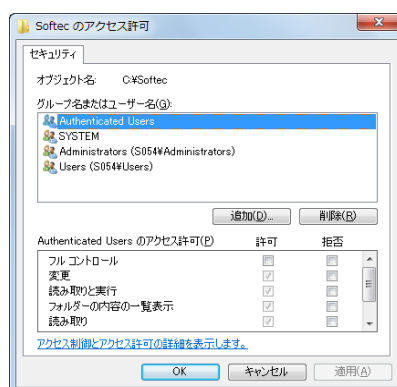
インストールドライブが C ドライブではない場合、実際のインストールドライブに読み替えて手順を実行してください。

- ① [エクスプローラ]を開き、LibMax のインストールされている[ローカルディスク(C:)]→ [Softec]フォルダを右クリック、メニュー[プロパティ]を選択します。
[Softec のプロパティ]ウィンドウが表示されます。

- ② [セキュリティ]タブをクリックして、[編集]ボタンをクリックします。



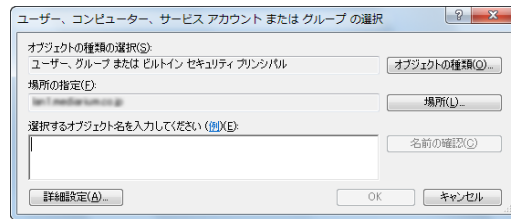
[Softec のアクセス許可]ウィンドウが表示されます。



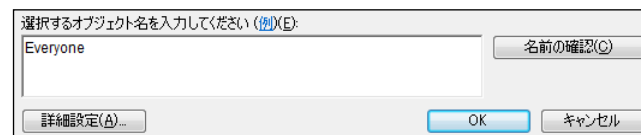
[グループ名またはユーザー名]に「Everyone」がある場合は、⑤へ進んでください。
[グループ名またはユーザー名]に「Everyone」がない場合は、③へ進んでください。

③ [追加] ボタンをクリックします。

[ユーザー、コンピューター、サービスアカウント、またはグループの選択] ウィンドウが表示されます。

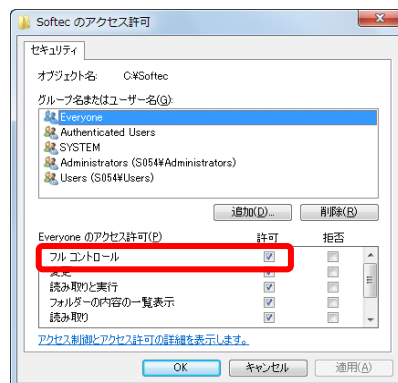


④ [選択するオブジェクト名を入力してください] 欄に半角で「Everyone (または everyone)」と入力して、[OK] ボタンをクリックします。



[Softec のアクセス許可] ウィンドウに、「Everyone」が追加されています。

⑤ 「Everyone」を選択し、[フルコントロール] の「許可」にチェックを入れて、[OK] ボタンをクリックします。



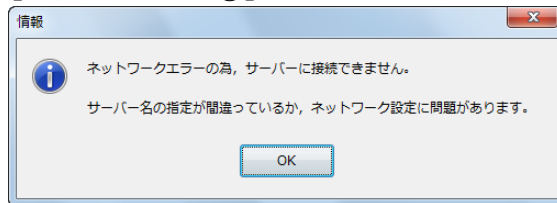
⑥ [Softec のプロパティ] ウィンドウに戻ります。[OK] ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

エラーが表示されたら

エラーメッセージが表示された場合、以下を確認してください。

確認後、[LibMax セットアップランチャ] 画面から、再度インストールを実行してください。

【エラーメッセージ①】



■ サーバー名を間違えていませんか？

サーバー名に間違いがある状態で接続のテストを実行しました。

サーバー名をご確認ください。〈P.9〉

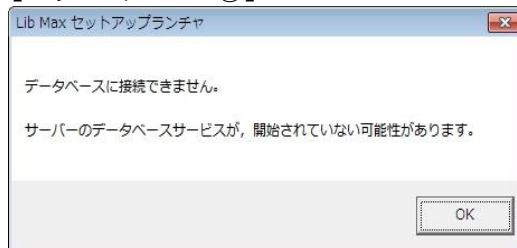
■ サーバーは起動していますか？サーバーと接続できますか？

サーバーが起動していない、またはサーバーとのネットワークが正常に動作していない可能性があります。

■ ネットワークプロトコル(TCP/IP)はインストールされていますか？

サーバーと、現在ネットワーク設定を実行しているパソコンに「ネットワークプロトコル(TCP/IP)」がインストールされていない可能性があります。ネットワーク設定を再度ご確認ください。

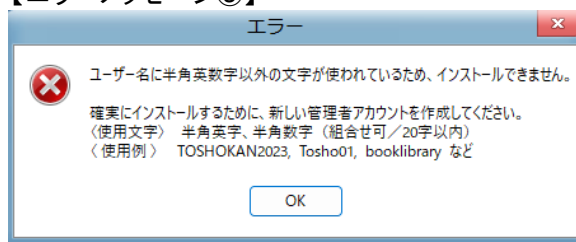
【エラーメッセージ②】



■ データベースサービスは起動していますか？

サーバーのデータベースサービスが起動していない可能性があります。いったんパソコンを再起動してください。

【エラーメッセージ③】



■ ユーザー名に半角英数字以外の文字を使っていますか？

ユーザー名に半角英数字以外の文字が使われているため、インストールできません。

【LibMax】を正しく確実にインストールするために、新しい管理者アカウントを作成の上、インストールを実行してください。

〈使用文字〉半角英字、半角数字 (組合せ可/20 字以内)

〈使用例〉TOSHOKAN2023, Tosho01, booklibrary など